

「自然災害多発国で生きるということ」



「災害は忘れたころにやってくる」

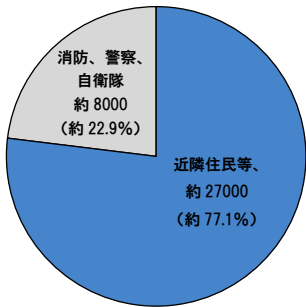
近年、全国各地でかつて経験したことのない災害が発生しています。東日本大震災での津波災害や今年8月20日未明に広島市で発生した土砂災害。海に囲まれ、急傾斜の多い西ノ島町も、またいつなんどき同じような災害に襲われるかわかりません。

自助・共助・公助

災害から身を守るには

- 「自助」…自らは自らで守る
- 「共助」…お互いに助け合う
- 「公助」…自助、共助を支える行政の支援

防災には、この3つが重要であると言われています。しかし、内閣府防災白書では、公助の限界、自助と共助の重要性が指摘されています。東日本大震災等では行政が全ての被災者に迅速に支援することが難しいこと、行政自身が被災して機能が麻痺する場合があります。一方、阪神淡路大震災では、倒壊した建物から救出され生き延びることができた人の約8割が、家族や近所の住民等によって救出されており、消防、警察及び自衛隊によって救出された者は約2割であるという調査結果があります。このことから、地域での助け合いが被害を少なくすることに繋がったことが分かります。



図表 阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数

過去の災害を知る

(昭和58年 日本海中部地震 津波災害)

5月26日12時00分頃、秋田県沖でマグニチュード7.7の地震が発生した。この地震により津波が発生し島根県沿岸には1.5〜2時間後に到達した。この津波により隠岐地方と島根半島を中心に多数の船舶・港湾施設に被害があり、浸水家屋もあった。

西ノ島町では、住家 床上浸水7棟、床下浸水36棟、船の被害 沈没4隻、中破1隻、小破11隻の被害が発生した。

(平成19年 大雨による災害)

8月30日夜遅くから31日明け方にかけて隠岐地方に発達した雨雲が次々と流れ込み、隠岐地方に猛烈な雨を降らせた。西ノ島町では解析雨量で1時間120mm以上の大雨が降り、30日20時30分に大雨警報、31日0時38分に土砂災害警戒情報が発表され、大山地区13世帯に避難勧告を発令した。軽傷1名、床上浸水36棟、床下浸水74棟、道路の通行不能箇所9箇所など、大きな被害が発生した。



津波災害

津波災害においては、まずは正確な情報を把握し、すぐに避難することが重要です。

「釜石の出来事」について

釜石市は、昭和三陸地震（昭和8年）やチリ地震（昭和35年）等の津波で大きな被害を受けた経験があった。

そのため、同市では、「津波でんでんこ」とよばれる自分の命を守ることの重要性や津波の恐ろしさを伝える防災教育を実施してきたほか、「想定を信じるな」、「最善を尽くせ」、「率先避難者たれ」という「津波避難の3原則」を強く訴えてきた。こうした教えによって、例えば、全校児童の9割以上が下校していた釜石小学校では、児童全員が無事に避難することができた。さらに、児童の中には、自宅にいた祖母を介助しながら避難を行ったり、津波の勢いの強さを見て、避難してきたまわりの人々とともに、指定避難所よりもさらに高台へ避難したりする例がみられた。

このように、積み重ねられてきた防災教育が実を結び、「津波避難の3原則」がいかされ、釜石市の小中学生のほとんどが津波から避難をして助かることができた。

津波被害の想定

想定断層	最大津波の地点	最大津波の高さ	最大津波の到達時間
佐渡島北方沖	国賀沖	10.46 m	172分
出雲市沖合 (断層北傾斜)	イザナギ浦	2.01 m	43分
出雲市沖合 (断層南傾斜)	国賀港	3.14 m	31分
隠岐北西沖	外浜	2.56 m	29分



▲昭和58年5月26日に発生した津波の様子（船引運河）

※参考 島根県津波地震被害想定調査、島根県津波避難計画策定指針

津波をはじめ自然現象には大きな不確定要素を伴うことから、想定（調査）には一定の限界があることをご理解ください。あくまで一つの想定に基づく調査結果ですので、必ずしもこのとおり津波が発生し、浸水するものではないことをご理解ください。

津波はすぐにやってくる

島根県津波地震被害想定調査にもあり、津波が発生すれば、早いもので30分程度、遅くとも2時間半程度の時間で襲ってきます。

正確な情報をつかむ

どこまで避難するか、いつまでに避難するか、正しい情報を知ることが大切です。テレビ、ラジオ、防災無線などのくらの津波がいつくるのかを確認してください。

すぐに避難する

ただちに高いところへ避難してください。もしかしたら、津波の発生を知らない人もいるかもしれませんので、隣近所に声をかけあいながら避難してください。避難する際は、なるべく徒歩でお願いします。お年寄りなど足の不自由な方が優先して車で避難してください。

どこに避難するのか

津波ハザードマップ

想定される津波で一番大きいもの（佐渡島北方沖M8.0）がどこまで浸水するかを示した、「西ノ島町津波ハザードマップ」を全世帯に配布してい

ますので、ご確認ください。

「西ノ島町津波ハザードマップ」が必要な方は役場総務課までご連絡ください。



浸水表示・海拔表示

西ノ島町では、町内の各所に浸水表示・海拔表示を設置しています。浸水表示は赤い看板で、想定される津波で一番大きいものがどこまで来ることを示しています。海拔表示は青い看板で、避難するときの高さの目安となるよう、その地点の海拔からの高さを示しています。



津波避難計画ワークショップ

西ノ島町では、各地区で津波避難計画ワークショップを実施しています。

このワークショップでは津波ハザードマップを基に、あらためて地区で話し合いながら、どうやって避難するかをまとめたマップを作ります。地区のみんなはどこに、どうやって避難するか、ということをお互いに共有します。